

図書館だより



No. 5

平成 27 年 9 月 25 日発行

2学期に入って、間もなく行われた学校の一大イベント“桔梗祭” クラスで、部活で、有志で、みなさんの活躍が光る発表が見られました。カラフルなクラスTシャツを着て、笑顔いっぱい桔梗祭を過ごすみなさんを見て、高校生活の楽しい思い出がまたひとつ増えたことだろうと感じました。2年生は桔梗祭に続き、来月にはオーストラリアへの修学旅行が控えています。これが初めての海外旅行になる人も多いかと思えます。図書館では、修学旅行の下調べに役立ててもらおうとオーストラリアに関連した本の展示をしています。修学旅行を十二分に充実させるためにどんどん活用してください。

また、この時期、3年生は小論文対策、面接対策のための資料を求めて、図書館を利用してくれていますが、「検索機を使っても探している本が見つけられない」、「どの本が適しているか悩んでいる」という時には、いつでも声をかけてください。

文化祭*

913.6-タ『文化祭オクロック』 竹内 真 || 著 東京創元社

生徒会長の宣言で始まった県立東天(とうてん)高校の文化祭“東天祭” オープニングを飾ったブラスバンドの演奏の後に校内放送で流れてきたのはDJネガポジによるラジオ放送“FM東天”だった。今までにないこの企画は1時間ごとにリレー形式でゲストが電話出演し、DJネガポジとトークを繰り広げ、リクエスト曲を流していくというもの。だが、ラジオ企画はそれだけではなかった！DJネガポジはラジオ企画に乗っけて、止まったままの学校の大時計を復活させようとさらなる企画を打ち出す。謎の男DJネガポジの狙いは一体何なのか。文化祭を舞台に仕掛けられた陰謀に巻き込まれることになった野球部エース山ちゃん、山ちゃんの想い人ユーリ、文芸部の探偵コーラが立ち向かう。

修学旅行*

302-E-7『オーストラリアを知るための55章』 越智 道雄 || 著 赤石書店

2年生のみなさん、オーストラリアについて、どのくらい知識を増やせていますか。桔梗祭で展示も行き、だいぶ詳しくなってきたことかと思いますが、滞在中に現地の人々と交流を深められるよう、さらに幅広く知識を増やしておきましょう。この本は、政治、経済、文化、民族についてなど、ガイドブックを読むだけじゃわからないオーストラリアのことを多岐に渡って書いており、オーストラリアの基礎知識が身についているみなさんが読むのにぴったりの本です。日本とは違うと感じることも色々出てくると思いますので、比較しながら読んでみましょう。



🍕食欲の秋を先取り！ピザ作り体験🍕

秋には食欲をそそる食材がたくさん！ついつい食欲旺盛になってしまう季節です。食べる楽しみに作る楽しみを加えて、もっと食欲の秋を満喫してみたいか？調べてみると、あちこちで色々な料理教室が開催されています。通うものだけでなく、1回きりの体験であれば参加もしやすいですね。

飯能市にある『たいら栗園』というところでは『薪割りから始めるPIZZAづくり教室』という楽しそうな教室が開催されるようです。薪を割り、火をおこし、石窯ピザを作るという自然の中でのピザ作りという、普段の生活の中ではなかなかできない体験ができます。この農園では、栗ひろい、じゃがいも堀り、ブルーベリー狩りなども行われており、今の季節は栗ひろいができるようです。自分でひろった栗で作る栗ごはんもおいしそうですね。

薪割りから始めるPIZZAづくり教室

日時*10月11日(日) 9:40~14:00 (雨天実施)

場所*たいら栗園(飯能)

料金:一人 3,000 円 ※定員20名



お家でも作ってみよう*

596-ハ『焼きたて！おうちピザ』 濱田 美里 || 著 講談社

おいしいピザが食べたい！その思いは、自宅の中でも叶えることができます。しかも、オーブンを使わず魚焼きグリルやフライパンでも焼くことができるというのが、このレシピ本の特徴です。はんぺんやキュウリ、納豆など、変わり種を使ったレシピやデザートピザのレシピも充実している他、お店のピザのように耳にチーズやソーセージを入れたレシピも載っています。

ピザ生地から手作りしたピザはきっと絶品！上手に作れるようになったら、好みの具材をトッピングして、欲張りピザを作ってみるのもおすすめです！

自然を楽しむ*

786-M『はじめてキャンプ』 JTBパブリッシング

みんなと力を合わせて、テントを立て、食材を調理し、自然の中でのひとときを楽しむキャンプ。安全に、快適にキャンプを行うための基礎知識が載っています。初心者にも優しいキャンプの仕方や用具の紹介、本格的に楽しむときのポイントなど、それぞれに合った情報を得ることができます。キャンプといえば、バーベキューが思い浮かびますが、それ以外にも野外でおいしくいただける料理のレシピがいくつも載っています。その他にも森の楽しみ方が色々紹介されているので、自然の魅力をたくさん知っていきましょう。

◇10月24日(土)図書館は閉館します◇

今月の知っておきたい〇〇の世界

今月の知っておきたい〇〇の世界、第5回目の今回は2年生の修学旅行も控えていることから“海外旅行の世界”を紹介します。

今や海外旅行は場所によっては国内より安く行けてしまうほど、私たちの生活の身近にあるものとなりました。既に修学旅行を終えた3年生のみなさんの中には海外旅行の楽しさに心を奪われ、「また行ってみたい！」と思っている人も少なくないのではないのでしょうか。

ただ、魅力がたくさんある反面、旅行するにあたり注意しなければいけないこともたくさんあります。海外旅行において心がけておきたいこと、また世界にはどんなおすすめスポットがあるのかなど、紹介したいと思います。



知っておくと安心、海外旅行の基礎知識*

290-カ『海外旅行安心ハンドブック』 海外旅行情報研究会 || 編 永岡出版

海外旅行をトラブルなく楽しんでくるために知っておくべきことがコンパクトにまとまっていて、とても便利です。パスポート取得や保険の加入、お金の準備など、海外旅行へ行くための準備から始まり、空港での手続き、機内での過ごし方、そして、入国から帰国まで旅先での過ごし方がよくわかります。海外では日本で過ごすようにはいかないことも多いです。日本との違いを理解した上で、その国での決まりを守り、安全を第一に旅をできるようにしましょう。具合が悪くなった時やトラブルに巻き込まれた時の対処の仕方なども載っていますので、自分は大丈夫と思わず、熟読してください。巻末には知っている役立つ英会話がシーン別に載っていますので、こちらも併せて覚えておくことをおすすめします。

あなたはどこを選ぶ？*

290-セ『おとな女子が見たい世界の絶景100』世界の絶景100選考委員 || 編 幻冬舎

世界にはまだまだ知らない絶景がたくさんあるのだなあだと、胸がわくわくしてくる本です。しかも、この本で紹介されているのは、旅行会社で働く女性4人が選定した“おとな女子”へおすすめしたい100の絶景スポットです。コンセプトのとおり載っているのは女子の好奇心をくすぐる選りすぐりの絶景ばかり！眺めているだけで世界1周を楽しんでいるような気持ちにさせてくれます。プロのカメラマンではなく、この4人の女性が撮ったという写真からも旅先の魅力が伝わってきますが、写真だけでなく文章のほうにも注目です。本当にこの場所が好きで紹介してくれているんだと書き手の思いが伝わってくる文章で、読んでいてこれまた旅気分が味わえます。さあ、みなさんはいくつ行きたいところが見つかるでしょうか。

泊まる場所にだってこだわりたい*

689-シ『死ぬまでに行きたい！世界の絶景 ホテル編』 詩歩 || 著 三オブックス

旅行の楽しみのひとつでもある宿泊先。特に女子にとってホテルは、せっかく泊まるなら寝るだけより楽しみのあるところがいい！と、こだわって選びたい部分ですよね。この本では世界中から集めた夢のように素敵なホテルの数々が紹介されています。

目の前に広がる絶景を心置きなく堪能できるホテル、キリンや象などの動物と触れ合うことのできるホテル、絶壁の窪みや森の中に建てられたホテルなど、どのホテルもそこでしか味わえない魅力を持っていて、こんなところに泊まれたら素敵だなあと想像するだけでうっとりしてしまいます。訪れるのにベストな季節や予算も併せて載っているので、憧れで終わらせるのではなく、実際に行くとしたらどこがいいだろうと実現に向けた検討もできます。

図書館司書の「今月はこの本を読みました」

柴崎竜人さんの『夏のキグナス 三軒茶屋星座館』(913.6-シ 講談社)を読みました。1巻を先月読み、おもしろかったので続きを読みました。

三軒茶屋の怪しげなビル7階にあるプラネタリウム&バー。やってくるのは、プラネタリウムではなく、リクライニングシートでの昼寝目的の常連たちばかり。そんな廃れたプラネタリウムだけど、ここで聞ける星座の話はと一つてもおもしろいんです！金髪がトレードマークの店主、和馬がギリシャ神話を現代風にアレンジして、おもしろおかしく話してくれます。

そんな隠れた魅力を持つプラネタリウムに舞い込んでくる面倒事を和馬がギリシャ神話に絡めて解決していきます。だんだんと常連が増えていく様子に他人事ながら「お客さんが増えてよかった！」心がほっこりします。また1巻から気になっていた謎についても2巻で明らかになり、ウルっとくるラストでした。「うーん、これはもう1巻続くのかもしれない！」と若干の期待を残しながら終わるところがよかったです。【今井】



『三毛猫ホームズの夢紀行』 赤川次郎 || 著 (B913.6-ア 光文社)を読みました。

秋風を感じるとなんとなくミステリが読みたくなります。しかし、この図書館便りを書いているのはまさに疾風怒涛のような桔梗祭の直後。読んでいるみなさんは、もうそんな前のことと思うかもしれませんが、本当に大変でした。夏休みが明けた頃から毎日準備に追われ、へとへとにくたくた。そんな時には本格派ミステリよりも、ちょっと現実を忘れられる気軽で楽しいものの出番です。「三毛猫ホームズ」はシリーズで出ているので登場人物も顔なじみだし、美猫のホームズにも久しぶりに会いたいし、まさにうってつけでした。片山刑事は相変わらず女性に振られるし、光枝お婆さんは見合いの話を持ってくるし、ホームズが出すヒントが事件を解決に導くと、毎度のお決まりごとを踏みながらも、あちらこちらで次々起こる事件の全体像は本当に謎です。すべての事件を解決できるのか、片山たちの窮地に不安を抱きつつも、ホームズのさりげない活躍は素晴らしくて、安心して楽しめました。【鈴木】